

新人職員合同研修会『多職種コミュニケーション』を実施しました

平成24年度から始まり、今年で3年目を迎えたこの研修は、医療チームの力強い仲間として、スタートラインに立ったことを実感できる研修です。

新人職員オリエンテーションの一環として実施され、今年は新人職員をはじめとして、なんと270名もの附属病院関係者が参加しました。



『多職種コミュニケーション研修』

日時：平成26年4月1日（火） 11:30～13:30

場所：筑波大学共同利用棟B 2階 講義室1・2

プログラム：

11:30～ 開会挨拶	(白川 副病院長)
11:35～ 本研修の目標と内容説明 アイスブレイク	(チーム医療教育推進室・稲葉コーディネーター) (全参加者)
12:10～ 映画「ハッピーフライト」とグループワークの説明	(PCME・前野講師)
12:25～ 映画視聴とグループワーク・発表	(全参加者)
13:30～ 研修のまとめ	(総合臨床教育センター・前野部長)
13:35～ 閉会挨拶	(原 副病院長)
13:40～ 研修報告仕上げ・アンケート記入	

*研修会の目的

参加者は皆これから筑波大学附属病院で共に働く医療チームの仲間です。職種や担当部署を超えて交流し、ひとつの医療チームを形作るための土台作りを目指しました。

*研修会の内容

研修会は26年度採用職員の勤務初日である4月1日に開催されました。まず、多職種との交流の経験やその意義についての考えをアンケートに記入し、その後筑波大学附属病院の白川洋子副病院長の挨拶で開会しました。

参加した新人職員219名の職種ごと内訳は、医科・歯科の研修医40名、看護師・助産師123名、その他の医療専門職38名、事務職18名でした。



*アイスブレイク

本研修の目的と研修内容についてチーム医療教育推進室・稲葉めぐみコーディネーターから説明を受けた後は、5～6名の多職種混成グループごとに集まって自己紹介です。エニアグラムを利用した性格タイプ別キャラクター診断の結果をお互いに報告しながら昼食を共にし、アイスブレイクが終わる頃には緊張も解れ、和気藹々とした雰囲気が生まれていました。





*映画視聴とグループワーク

続いてはグループワークです。まず、筑波大学医学専門学群医学教育企画評価室（Planning and Control for Medical Education : PCME）の前野貴美講師よりグループワークについて説明がありました。

飛行機をテーマにした映画「ハッピー✈️フライト」の一場面を視聴した後、飛行機の運航に携わる様々な登場人物の行動を観て考えたこと、感想などについてグループで話し合い共有しました。

グループワーク中は筑波大学附属病院の様々な部署の先輩職員が、ファシリテーター役としてそれぞれのグループの話し合いの手助けをしました。

参加したファシリテーターによると、皆さん新人職員とは思えないほどチーム医療への意識が高く、積極的に意見を交換していたとのことでした。

*研修のまとめ

映画の題材は医療とは違うものの、多職種の連携や協働など共通した点に着目して、それぞれの役割の重要性やチームワークに必要なものについて気付いた方が多かったようです。

グループごとにまとめた意見を42グループのうちの5グループから発表してもらいましたが、どのグループも職種による専門性を生かした役割の分担、互いに尊重した連携など、気付いたことをチーム医療に活かしてより良い医療を目指そうという意欲が見られました。

最後に、筑波大学附属病院の原尚人副病院長より、新人職員の皆さんのこれからの活躍に関する期待が述べられました。

研修前のアンケートでは、参加者のほとんどが多職種との交流に意義があると感じているにも関わらず、異職種間のコミュニケーションの経験については5割近い新人職員が『ない』もしくは『あまりない』と回答していましたが、研修後のアンケートによると、そういった参加者もこの研修で多職種との交流ができたと回答していました。

他職種とのコミュニケーションを経験することで、医療チームの一員としての自覚が芽生える有意義な研修となったようです。

実際に仕事を始める前に
他職種と交流できて良かった



多職種との交流を
大事にしようと思った



様々な視点に触れられた

この研修に
参加できてよかった！



アンケートの
主な意見だよ！

